

特定電気用品適合性検査手数料の算出方法

2024年4月1日

特定電気用品適合性検査手数料にあつては、以下の「試験料+設備確認料」の合算額とします。

1. 試験料

「品目別標準試験料+部品試験料」の合計額^{※1}

※1：定格が2以上のもの（例：50/60Hz）にあつては、品目別標準試験料の1.2倍（配線器具にあつては1.3倍）の額とします。また、技術上の基準を定める省令の解釈別表第十二（旧省令2項）を適用する場合は、試験工数に応じて見積もった額とします。

2. 設備確認料（工場毎）

現地確認料 又は 書面確認料

● 差込プラグ（125V、15A、ビニルコード一体成形品）の手数料の例

（単位：円，消費税別）

試験料 ^①		設備確認料 ^②		費用概算 ^{①+②}
品目別標準試験料	部品試験料	現地確認料	書面確認料	
95,900	192,800 ^{※2}	85,700+旅費	—	例1：374,400+旅費
95,900	192,800 ^{※2}	—	14,300	例2：303,000
95,900	— ^{※3}	85,700+旅費	—	例3：181,600+旅費
95,900	— ^{※3}	—	14,300	例4：110,200

※2：ビニルコード（無表示品）の場合／※3：ビニルコード（◇PSE表示品）の場合

● 観賞魚用ヒーター（単相、100V、20W、自動温度調節器あり）の手数料の例

（単位：円，消費税別）

試験料 ^①		設備確認料 ^②		費用概算 ^{①+②}
品目別標準試験料	部品試験料	現地確認料	書面確認料	
133,600	25,500 ^{※4}	85,700+旅費	—	例1：244,800+旅費
133,600	25,500 ^{※4}	—	14,300	例2：173,400
133,600	109,100 ^{※5}	85,700+旅費	—	例3：328,400+旅費
133,600	109,100 ^{※5}	—	14,300	例4：257,000

※4：自動温度調節器（CMJ登録品）の場合／※5：自動温度調節器（CMJ未登録品）の場合

以上